

2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 磯村 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	12,267	1.3	8		23	91.2	15	206.5
2018年3月期第2四半期	12,106	8.0	16		12	64.4	4	10.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 15百万円 (206.5%) 2018年3月期第2四半期 4百万円 (10.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	2.99	
2018年3月期第2四半期	0.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	9,710	4,616	47.5	907.46
2018年3月期	10,015	4,662	46.6	916.47

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 4,616百万円 2018年3月期 4,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		12.00	12.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,916	6.1	176	119.0	193	63.6	127	63.7	25.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	5,500,000 株	2018年3月期	5,500,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年3月期2Q	412,326 株	2018年3月期	412,326 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	5,087,674 株	2018年3月期2Q	5,088,062 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策により景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら猛暑による生鮮食料品の価格高騰や原油高を背景にガソリンなどエネルギー価格も上昇傾向にあり、消費者マインドは力強さを欠く状況でした。また、米国の通商政策に伴う影響など海外経済の不確実性から日銀短観の景況感も3四半期連続のマイナス、業況感も直近でマイナスとなっております。さらに相次いで発生した自然災害の影響と人手不足からの人件費増加などにより景気を下押しした状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、花や緑を通じて人々を幸せにするという理念に基づき、消費者志向の花き商品の提供に努めております。花き業界は生産、消費ともに天候の影響を大きく受けますが、今年は記録的な猛暑、地震、豪雨、台風など相次ぐ自然災害の発生により生産量が減少しました。そのため7月盆、8月盆、秋の彼岸等の需要期に供給が追いつかず、品薄単価高の状況が続きました。今後につきましては、雇用・所得環境の改善を背景に花きの需要が回復していく見通しです。

当2四半期から国産花きの供給不足が目立ってきておりますので、産地と取り組んで消費者の求める商品を適時適切に流通できるようサプライチェーンの構築に努めてまいります。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,267,244千円(前年同四半期比1.3%増)、営業利益8,697千円(前年同四半期は16,400千円の営業損失)、経常利益は23,126千円(前年同四半期比91.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,202千円(前年同四半期比206.5%増)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,710,683千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ198,870千円減少し4,367,423千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ106,220千円減少し5,343,259千円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金2,375,034千円、売掛金1,835,548千円、固定資産の主な内訳は建物及び構築物3,163,746千円です。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は5,093,811千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ98,765千円減少し2,137,931千円、固定負債は前連結会計年度末に比べ160,476千円減少し2,955,880千円となりました。

流動負債の主な内訳は、受託販売未払金1,480,164千円、固定負債の主な内訳は長期借入金2,104,182千円です。

純資産は前連結会計年度末に比べ45,849千円減少し4,616,871千円となりました。これは剰余金の配当61,052千円、親会社株主に帰属する四半期純利益15,202千円の計上によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して69,593千円減少し2,373,034千円となっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、120,245千円(前年同四半期は663,935千円の増加)となりました。主な増加要因は、減価償却費141,637千円、売上債権の減少58,443千円であり、主な減少要因は、法人税等の支払額43,543千円によるものです。

投資活動の結果得られた資金は、40,277千円(前年同四半期は34,877千円の使用)となりました。主な増加要因は出資金の払戻による収入100,000千円、主な減少要因は貸付けによる支出49,000千円、有形固定資産の取得による支出41,551千円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、230,116千円(前年同四半期は213,571千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出161,904千円、配当金の支払額60,755千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表しました平成31年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日(2018年11月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,444,627	2,375,034
売掛金	1,999,724	1,835,548
商品	634	1,959
その他	121,307	154,881
流動資産合計	4,566,293	4,367,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,222,699	3,163,746
工具、器具及び備品(純額)	437,666	402,992
その他(純額)	130,587	126,991
有形固定資産合計	3,790,953	3,693,730
無形固定資産		
ソフトウェア	19,101	13,703
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	23,366	17,969
投資その他の資産	1,635,160	1,631,559
固定資産合計	5,449,480	5,343,259
資産合計	10,015,774	9,710,683
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,522,982	1,480,164
買掛金	51,079	78,245
1年内返済予定の長期借入金	323,808	340,792
未払金	79,368	38,353
未払法人税等	57,701	20,423
賞与引当金	23,000	26,820
その他	178,756	153,132
流動負債合計	2,236,697	2,137,931
固定負債		
長期借入金	2,283,070	2,104,182
退職給付に係る負債	329,770	344,572
資産除去債務	136,221	137,086
その他	367,294	370,039
固定負債合計	3,116,356	2,955,880
負債合計	5,353,053	5,093,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,058,893	4,013,044
自己株式	△350,539	△350,539
株主資本合計	4,662,720	4,616,871
純資産合計	4,662,720	4,616,871
負債純資産合計	10,015,774	9,710,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	12,106,606	12,267,244
売上原価	10,897,681	11,024,774
売上総利益	1,208,924	1,242,470
販売費及び一般管理費	1,225,325	1,233,772
営業利益又は営業損失(△)	△16,400	8,697
営業外収益		
受取利息	2,085	2,335
受取配当金	7,738	6,878
持分法による投資利益	4,933	4,449
貸倒引当金戻入額	4,645	—
その他	14,671	10,685
営業外収益合計	34,073	24,349
営業外費用		
支払利息	5,574	4,938
貸倒引当金繰入額	—	4,982
営業外費用合計	5,574	9,920
経常利益	12,098	23,126
税金等調整前四半期純利益	12,098	23,126
法人税等	7,138	7,923
四半期純利益	4,960	15,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,960	15,202

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	4,960	15,202
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	4,960	15,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,960	15,202
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,098	23,126
減価償却費	150,479	141,637
賞与引当金の増減額(△は減少)	919	3,820
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,190	14,801
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,645	11,863
受取利息及び受取配当金	△9,823	△9,213
支払利息	5,574	4,938
持分法による投資損益(△は益)	△4,933	△4,449
売上債権の増減額(△は増加)	235,432	58,443
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13	△1,325
仕入債務の増減額(△は減少)	132,396	△10,330
未収入金の増減額(△は増加)	22,793	1,125
未払費用の増減額(△は減少)	△5,856	△1,407
未払金の増減額(△は減少)	△25,118	△20,701
未払又は未収消費税等の増減額	97,568	△15,602
その他	3,143	△44,634
小計	625,206	152,092
利息及び配当金の受取額	17,308	16,693
利息の支払額	△4,864	△4,997
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	26,285	△43,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	663,935	120,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,326	△41,551
無形固定資産の取得による支出	△5,893	△615
貸付けによる支出	△31,000	△49,000
貸付金の回収による収入	36,341	31,444
出資金の払戻による収入	—	100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,877	40,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△144,920	△161,904
自己株式の取得による支出	△396	—
配当金の支払額	△59,850	△60,755
リース債務の返済による支出	△8,404	△7,457
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,571	△230,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	415,487	△69,593
現金及び現金同等物の期首残高	2,158,269	2,442,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,573,757	2,373,034

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。